

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1345 号	氏名	高尾 聡
学 位 審 査 委 員	主 査	神津 玲	
	副 査	石松 祐二	
	副 査	澤井 照光	
	副 査	御手洗 聡	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究の目的は、肺非結核性抗酸菌（NTM）症患者の健康関連 QOL を St. George’s Respiratory Questionnaire（SGRQ）と Leicester Cough Questionnaire（LCQ）にて評価し、同患者における LCQ の有用性を明らかにすることであり、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 肺 NTM 症患者 81 例を対象に、各種評価項目とともに SGRQ と LCQ を後方視的に調査、両者の内部一貫性をクロンバックの α 係数を用いて評価するとともに、これらの総スコアを従属変数とした重回帰分析を行っており、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、SGRQ と LCQ の α 係数は全てのドメインにおいて 0.7 以上であり、総スコアの内部一貫性も良好であった。総スコアを従属変数とした重回帰分析では、SGRQ では肺機能と画像スコアが、LCQ では画像スコアと CRP が説明変数として選択された。今後の同患者における健康関連 QOL と障害評価に関する研究への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は、肺 NTM 症患者の健康関連 QOL の評価に関する研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			